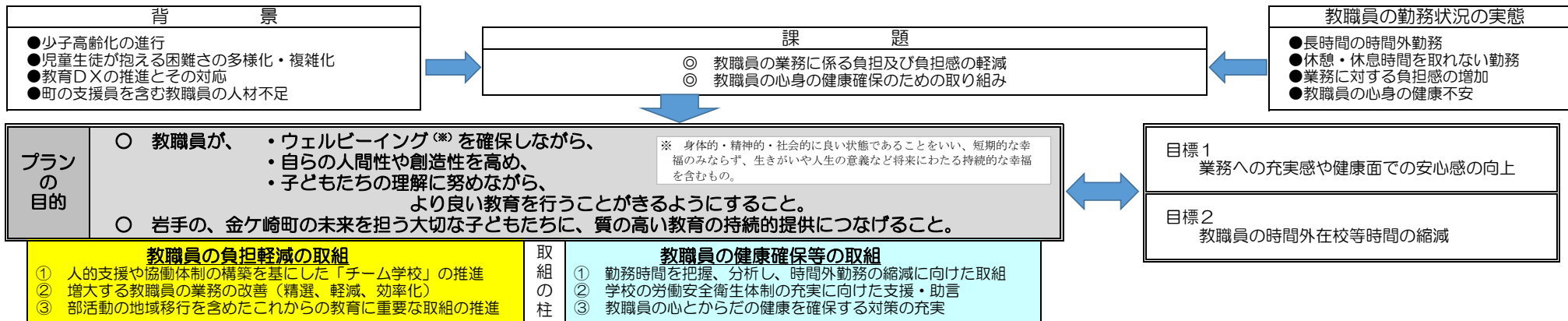


2025年度 金ケ崎町立小・中学校教職員 働き方改革プラン(2024~2026)



※ 身体的・精神的・社会的に良い状態であることをいい、短期的な幸福のみならず、生きがいや人生の意義など将来にわたる持続的な幸福を含むもの。

教職員の負担軽減の取組		
(1)「チーム学校」の推進	(2)学校業務の改善支援	(3)これからの教育への対応
ア 学校運営の工夫、チーム体制の構築（学校） ① 生徒指導体制の整備など、全教職員一丸となった学校運営 ② 学級・学年経営力の強化 イ 学校をサポートする専門スタッフ等の配置（町教委） ① 国・県教委による専門スタッフ等の配置の要望 ② 町教委による専門スタッフ等の配置の検討	ア 業務内容の改善 ① 共同事務室による事務処理の適正化（学校） ② 校務支援システムの活用（学校） ③ 各種調査依頼の精選、調査方法の効率化（町教委・学校） ④ 各種コンクール等の作品応募・募集依頼の精選（町教委・学校） ⑤ 外部機関からの依頼、学校への依頼の精選（町教委） イ 授業改善等に係る支援（町教委・学校） ① 各種会議、研修会の在り方の検討及び内容の精選 ② 各種学習状況調査結果集約・活用の効率化	ア 全ての教員で創り上げるカリキュラム・マネジメントの推進（学校） イ ICT教育の充実（町教委・学校） ウ 学校運営協議会の推進（学校） エ 部活動の地域移行に係る具体的取組の推進

教職員の健康確保等の取組
(1)勤務時間の適正管理 ア 時間外在校等時間の把握(町教委・学校) イ ノー残業デーの実施(学校) ウ 学校閉庁日の設定(町教委・学校) エ 時間外在校等時間の上限(町教委・学校)
(2)労働安全衛生体制の充実 ア 校内安全衛生推進会議の実施回数等の確保と内容の充実(学校)
(3)心とからだの健康対策(町教委・学校) ア 長時間勤務者への産業医による保健指導の確立 イ 専門医によるメンタルヘルス相談の充実

第一小学校の取組	
教職員の負担軽減の取組	教職員の健康確保等の取組
(1) 各種課題に組織的に対応する体制の見直し ①生徒指導体制を整備し、役割分担を明確にして指導に当たる。 ②校内研究の体制を整備し、複数学年で連携して効率的に研究を進める。 (2) 学校業務内容の見直しと改善 ①学校集金の電算化と会計処理業務の分担を明確にし進める。 ②校務支援システムによる学級事務の効率化を進める。 ③ねらいを明確にし、行事や活動の規模、内容を精選する。 (3) ICTの効果的な活用による業務の効率化 ①会議や配付物等のペーパーレス化による作業の軽減化を図る。 ②一人一台端末を活用し、教材（資料等）の工夫と学習の充実を図る。	(1) 勤務時間の適正管理 ①校務支援パソコンにより勤務時間の把握に努める。 ②適宜、業務の優先順位や業務遂行の方法について面談を行い、自己の働き方の見直しを図る。 ③勤務時間・業務内容の分析から、個々の業務量の適正化を図る。 (2) 労働安全衛生委員会の充実 ①職員会議後に労働安全衛生委員会を位置づけ、労働環境の課題を出し合い、改善につなげる。 (3) 心とからだの健康対策 ①健康状態に関して気軽に相談できる人間関係と支え合える職場風土を醸成する。 ②余暇やプライベートの充実を奨励し、心身の健康増進を図る。